

一般教養試験（択一式）  
【高校卒業程度】

〔例題1〕 次のことわざ・成句のうち、意味が妥当なのはどれか。

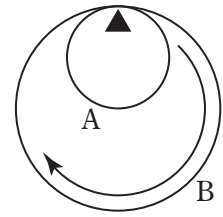
1. 瓢箪ひょうたんから駒：思いもよらないことが現実にかかること。
2. 魚心あれば水心：互いに近くにいながら、心が離れてしまっていること。
3. 藪やぶをつついて蛇を出す：身に災いが及ぶ前に、災いの元を取り除く。
4. 尻馬しりうまに乗る：弱い立場にある人の味方になる。
5. 二匹目の泥鰌どじょうを狙う：これまで誰も用いなかった方法によって、大きな成果を得ようとする。

【正答1】

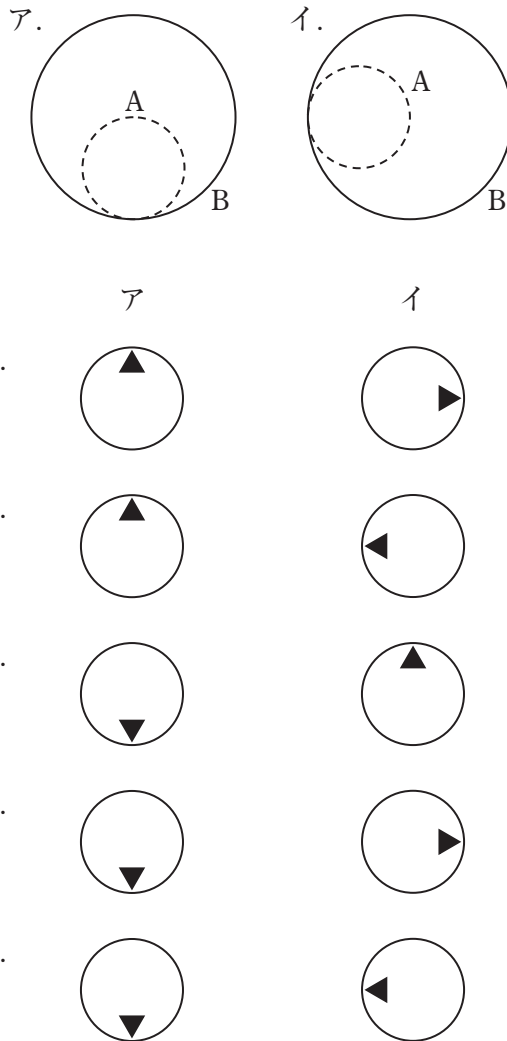
一般教養試験（択一式）  
【高校卒業程度】

〔例題2〕 図Iのように、三角形が一つ描かれた円Aが円Bの上端に内接している。円A、Bの円周の長さはそれぞれ10cm、20cmである。いま、円Aを、円Bの内側に沿って滑ることなく矢印の向きに回転させていく。図IIのアは円Aが円Bの内側を半周して下端に来たとき、イは円Aが円Bの内側を $\frac{3}{4}$ 周して左端に来たときの図である。それぞれにおける円Aの向きを正しく示しているのはどれか。

図I



図II



【正答 4】